

これから始まる、本物の時間。

大人の青春

健康成就&コロナ終息を祈願しつつ
三十六ヶ所を巡りましょう

令和3年〜4年 平和の巡礼

御朱印巡り

in 岐阜

期間／令和3年8月1日(日)〜令和4年1月31日(月)迄

第 号 証

令和 年 平和の巡礼
御朱印巡り in 岐阜

満願成就

令和 年 月 吉日
岐阜新聞社営業局

全制覇された方にもれなく
「満願成就証明証」を発行
いたします。詳しくは裏面をご下さい。

岐阜新聞社



01 三輪神社

神武天皇の御世、諏訪大社のご祭神、武御名方富命が当地に三輪明神を祀られたと伝えられる。ご祭神は、大物主大神、またの名を大國主大神、ダイコク様として広く信仰されている。ざわりダイコク、なでうさぎ、銭洗弁財天などが境内に祀される。

揖斐郡の総鎮守として古来から崇められており、5月4日5日に行われる例祭「揖斐まつり」は近隣から多くの人々が集う。豪華絢爛の5輦の山車の境内引き揃えと稚児歌舞伎の上演、神輿渡御の町内巡行は圧巻である。

揖斐郡揖斐川町三輪1322番地 ☎0585-22-1511



02 日吉神社

弘仁8年(817)、伝教大師(最澄)が近江坂本・日吉神の四柱の神を勧請、その後弟子の慈覚大師が三社を勧請。山王七社を奉拝。

5月3日、4日に行われる日吉山王まつりは、松明を掲げ七基の神輿が全力疾走する「神戸の火祭り」として有名。御朱印料は300円。

安八郡神戸町1 ☎0584-27-3628



03 明星輪寺

朱鳥元年(686年)持統天皇の勅願により役の小角が創立。本尊虚空蔵菩薩を安置しており、江戸時代には大垣藩主戸田家の代々祈禱所。

「こくぞうさん」の愛称で親しまれ、赤坂の金生山の山頂付近にあり、境内からは遠く南東に伸びる濃尾平野の絶景や、伊吹山・日本アルプス・白山を望むことができる。

大垣市赤坂町4610 ☎0584-71-0124



04 美濃国分寺

天平13年(741年)聖武天皇が鎮護国家を願い、諸国に国分寺建立の詔を出し建立された。開祖は行基とされ、自ら薬師如来像を彫り本尊とすると共に七堂伽藍を建て寺を開いたとされる。弘法大師(空海)が三代目住職。

高野山真言宗の準別格本山。詳名は金銀山瑠璃光院国分寺。西美濃三十三霊場満願札所。現在の美濃国分寺は江戸時代の再興。病気平癒と家内安全、交通安全の御祈禱で参拝客が訪れる。

大垣市青野町419 ☎0584-91-0297



05 南宮大社

崇神天皇の御代に府中より美濃仲山麓の現在地に遷される。国府から南方に位置するため南宮大社と呼ばれる。主祭神は金山彦命。

旧国幣大社で美濃国一の宮。全国の鉱山、金属業の総本宮として崇敬を集めている。現在の社殿は寛永19年(1642年)に春日の局の願いにより三代将軍徳川家光公が再建した。

不破郡垂井町宮代1734-1 ☎0584-22-1225



06 妙應寺

正平15年(1360年)、今須城主長江重景の母親妙應を弔うため、能登の総持寺より巖山禪師を招き開山。江戸時代は領主の菩薩寺、また京都伏見宮家の祈願所。宗派は曹洞宗。

七堂伽藍の禅宗の名刹。東海薬師霊場第13番札所、西美濃三十三観音第18番札所(聖観音)、本尊は釈迦如来。御朱印の方は特別拝観ができます。

不破郡関ヶ原町今須2591-1 ☎0584-43-5141



07 日乃出不動尊

古来より此の付近の山谷一帯は清浄な霊地で、諸国行脚の法師が厨子を背負って当地に泊まり、「われを大安寺の奥山に一字を建立して安置せよ」とのお告げがあり、不動尊を奉じたのが始まりと伝えられている。

御本尊厨子御開帳は7月28日に一番近い日曜日。最上段にある不思議な「落ちない岩」のご利益により、受験生や就活生の「合格祈願」が有名で、全国から参拝者が訪れる人気スポット。

各務原市鵜沼大安寺町1-86-2
☎058-384-7651



08 法福寺

御本尊は「大日如来」。その他不動明王、宗祖弘法大師、毘沙門天などを祀る。宗派は真言宗で、主に厄除祈願、家内安全、商売繁盛の祈願寺として年間を通じて多くの参拝客が訪れる。

「学ヶ瀬(おがせ)池」から各務原パークウェイで5分。境内にはドーム型の永代供養墓「風の塚」ならびに樹木葬霊園「ブルームヒル各務原」もある。また「カフェ風庵」も併設。

各務原市車洞6799-3 ☎058-384-3510



09 加佐美神社

創建は7世紀前半とされ式内社であり、蘇原地区の産土神。各務原市内金幣寺五社の内の一つ。

境内には阿弥陀堂が現存しており神仏習合の名残がある。本殿(1687年建築)、幣殿(1910年建築)、拝殿(1746年建築)のすべてが国の登録有形文化財となっている。

各務原市蘇原古市場町5-1 ☎058-383-8962



10 林陽寺

延暦15年(796年)弘法大師が当地を訪れ薬師如来の尊像を彫り本尊佛とした。寛文5年(1665年)了然玄超禪師によって開山。曹洞宗寺院となる。

本尊は薬師如来(秘佛)。そのほかに円空仏3体。境内には七福神の一つ布袋様が祀られ、多くの参拝客が訪れる。3月最後の日曜日、午後1時から「しだれ桜コンサート」開催予定。

岐阜市岩田西3-402 ☎058-243-1380



11 洞泉寺

宝徳年間(1460)頃、麟巖和尚が創建。後に寛永年間(1650)頃に水岸本滴和尚が当地の土佛の澤に棲むという龍を退治して書難を除き、開山となる。御尊像は龍頭観音菩薩像。

美濃西国三十三観音第4番霊場・美濃新四国第87番霊場御本尊は釈迦如来像。永代供養のご相談も受け付けている。

岐阜市向加野3-5-12 ☎058-243-2277



12 延算寺

弘法大師(空海)によって創建。小野小町が天然痘にかかり、ご本尊の夢のおかげで薬水を授かり、病気が平癒したという伝説がある。東院には皮膚病に効果があるという霊水がある。

木造薬師如来立像(平安時代初期)は国指定重要文化財。最澄がクスノキから彫り上げた3体の薬師如来像の一つであると伝えられている。地元ではかさ神様として大変親しまれている。

岐阜市岩井2-1-25 ☎058-242-3007



13 護国之寺

天平18年(746)聖武天皇の勅願により行基菩薩によって開創。永禄時代(1530)に兵火によって焼失したが良啓上人により再興された。元文元年(1736)観音堂が本堂として再建。宝暦5年(1755)奥之院。同12年(1762)に王門がそれぞれ建立された。

本尊は十一面千手観音。国宝の「金銅獅子唐草紋鉢」がある。この鉢は聖武天皇が大仏建立の折に褒美に下賜されたという縁起が残されている。護国之寺は美濃西国第17番札所。

岐阜市長良雄総194-1 ☎058-231-3539



14 大龍寺

持統天皇の御世(686~697)創建。その後、室町時代に禅宗に改宗。本尊の腹帯子安観世音菩薩は後白河法皇の勅願により祀られ、子授け・安産・子育てのご利益があるといわれている。

子安観音と、達摩(だるま)大師をおまつりしていることから、通称「だるま観音」と呼ばれ親しまれている。

岐阜市粟野2339 ☎058-237-3837



15 崇福寺

創建は明徳元年(1390)。織田信長は永禄10年(1567)美濃に移り、崇福寺を菩薩寺とした。岐阜城が落城した祭に戦死した将兵を弔うための「血天井」が本堂には残されている。

織田信長、有栖川宮家ゆかりの寺院。江戸時代には有栖川宮家の祈願所に指定され、当山十九世法舟義勇和尚の内室は有栖川宮家の墓であった。本尊は延命地蔵菩薩、聖観音。美濃三十三観音霊場第十四番札所。

岐阜市長良福光2403-1 ☎058-231-2613



16 弘峰寺

高山山真言宗。本堂は奥行き16m、高さ5mの岩窟。日本最大級の岩窟本堂として有名。ご本尊は不動明王立像で製作は鎌倉時代とされ、市の重要文化財に指定されている。

毎月21日は弘法大師の縁日となり、14時から護摩祈祷と法話、弘法灸(こうぼうきゅう)が行われる。毎月最終金曜日は金の御朱印が授与される。

岐阜市長森岩戸944-99 ☎058-245-6621



17 乙津寺

創建は天平10年(738)。行基が十一面千手観音像を彫り安置。弘仁5年(814)、弘法大師は七堂伽藍、塔隠五ヶ寺・鎮守などを造営し、自ら弘法大師造を彫る。当寺は「鏡島弘法」として親しまれている。

毎月21日の縁日には多くの参拝客で賑わう。またこの日は限定の金の御朱印がいただける。(最終金曜日にも金の御朱印を発行)

岐阜市鏡島2-8-1 ☎058-252-2062



18 加納天満宮

文安2年(1445)、斎藤利永が沓井城(旧加納城)の守護神として天満宮を勧請。関ヶ原合戦後徳川家康が新しい加納城建設にあたり、鎮護の神として現在の地に遷座した。

ご祭神は菅原道真公。幼少より秀才に秀で、学問上の功績が大きいため、学問の神として全国に奉斎されており、「合格祈願」の御利益は大。御朱印料300円

岐阜市加納天神町4丁目 ☎058-271-0706



19 慈恩禅寺

慶長11年(1606)八幡城主遠藤慶隆が開基。本尊は釈迦如来。薬師如来、弁財天、子宝地藏、烏桓沙摩明王のご朱印有り。(開門9:30~16:00、火曜日定休)

「莖草園」は滝の音響く四季風情豊かな市指定名勝庭園。また、「お薬師様のご祈祷・お念寿」では自らお念珠の作成体験もできる(要予約)。心が安らく寺と評判の郡上八幡観光名所。



郡上市八幡町島谷339 ☎0575-65-2711

20 桂昌寺

天正5年(1577)久山は桂大和尚によって開山。曹洞宗の寺で本尊は釈迦如来。毎月17日には地元の人々が集い観音講が開かれている。

全国花遍路八十八ヶ寺霊場に指定され、3月中・下旬には彼岸桜が見頃を迎え、4月下旬から5月上旬には約150種2千株のほとんが、6月中・下旬には洋アジサイが境内に咲き誇る。



郡上市美並町大字大原579 ☎0575-79-2188

21 洲原神社

養老元年(717)、元正天皇により白山修験での秦澄の靈感を高嶺すべく勅命が下り、その後5年の歳月をかけて721年宏宝大莊嚴な社殿に、秦澄が御祭神を祀ったのが始まり。古来より「正一位洲原白山」と称えられる由緒ある大社。

御本殿三殿は県指定重要文化財、御舞殿・御拝殿及び椋門の三棟が市指定重要文化財となる神社で、良縁・子授り・家業繁栄・厄難解除などの守護神として崇厚く、「お洲原まいり」として参詣者が多い。

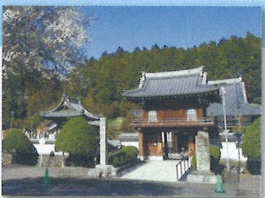
美濃市須原468-1-1 ☎0575-32-2363



22 永昌院

創建は寛文10年(1670)関市龍泰寺20世紫山(ごうさん)正雪和尚を開山に請じた。美濃町と和紙の里の中間に位置し、和紙職人を中心に支えられてきた禅寺。

令和元年に宝来禅房(庫裏)が再建され、建物内には美濃和紙の設えが随所に施されている。透かし模様や手書き和紙の御朱印紙、美濃和紙の御守りを受けることができ、春は桜のライトアップも楽しめる。



美濃市安毛711 ☎0575-33-1016

23 大矢田神社

大矢田神社は社号を牛頭天王社と称し、養老二年(718)の創建。上古、人皇第七代孝靈天皇の御代を祀る。本殿は寛文十二年(1672)に再建され、三間社流の切妻屋根が特徴で、壮麗な造りの妻入り拝殿と共に国の重要文化財に指定されている。

当神社一帯は楓谷山もみじ樹林の名勝で、国の天然記念物に指定されており、秋には賑わいを見せる。※社務所不在の場合は窓に掲示された内容に従って手続きをお願いします。

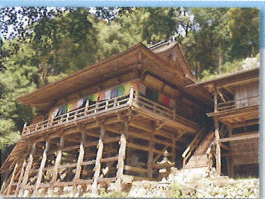


美濃市大矢田2596 ☎0575-35-3660 (美濃市観光協会)

24 高澤観音(日龍峯寺)

創建は仁徳天皇の時代(5世紀前半)、飛騨の豪族「両面宿禰」が都で天皇とご対面の帰り、高澤の峰にある池に住む神龍を、大悲の陀羅尼を唱えて退散させ、この峰に寺を開創したのが始まりという。

鎌倉尼将軍「北条政子」寄進の本堂は応仁文明の乱で焼失したが、現存の本堂は寛文十年の建物で美濃の清水の異名を持つ、同じく將軍家建立となる「多宝塔」は、国指定重要文化財となっている。



関市下之保4585 ☎0575-49-2892

25 龍泰寺

応永14年(1407)第1祖無極慈徹禅師が開創。開基は九代将軍足利義尚とされ、嘉吉3年(1443)に華叢禅師が伽藍を再建。貞享4(1687)には山門を、3年後には経蔵を建立。現在の庫裡、本堂は文化6年(1809)に再建され、更に老朽化した伽藍は平成13年(2001)までに24年を費やして修復を完了した。

天狗と龍の伝説で有名な古刹「龍泰寺」は、第3祖開山華叢正尊禅師の法嗣である絶方・快庵・大林三師の流れを汲むお寺が全国に約700ヶ寺あり、華叢三派といわれる由縁となっている。

関市下有知5055-1 ☎0575-22-3642

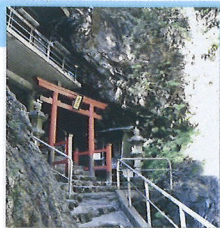


26 迫間不動尊

弘仁14年(823年)開基。本尊は不動明王。美濃三不動の一つで、お遍路さんや行者などのお詣りもある。本尊は自然の岩窟に安置されている。岩窟の前には不動滝(高さ7m)があり、修行の場でもある。またアメリエの疫病厄除帳札もある。

春の大祭では山伏による火渡り神事が、秋の大祭では護摩供養が行われる。周辺には岐阜県が生活環境保全林として整備をした「ふどうの森」があり、その駐車場を利用しての参拝ができる。

関市迫間891 ☎0575-22-7839



27 瑞林寺

室町時代後期に仁濟宗紹が、当時の美濃国守護の土岐美濃守成頼の援助を受けて創建されたとされる。また当地の特産品である堂上峰屋柿を、室町幕府十代将軍足利義満に献上して、寺領十石と柿寺の称号を授けられたとされている。利義頼に献上して、寺領十石と柿寺の称号を授けられたとされている。

御尊大仏と呼ばれる約5mもの「木造弥勒仏坐像」は、もともと未寺の大興寺に安置してあったのを復元したものが、戦国時代に織田信長が攻めてきた際に、首を抜いて土中に埋めたとの伝説が残っている。

美濃加茂市峰屋町上峰屋9-1 ☎0574-26-1847



28 小山観音(小山寺)

平安末期、朝日将軍と呼ばれた木曾義仲公ゆかりの馬頭観世音を祀る。830年余の悠久の時の流れの中、飛騨木曾川国定公園に佇む。飛騨川に浮かぶ小島の観音堂へは参詣専用かんをん橋を渡る。

御本尊の「馬頭観音」は頭上に馬頭をいただき、忿怒相をあらわす八大明王のひとつで、「三面六臂の立像」である。コロナ禍の今こそ疫病退散・災難消除・開運降昌・家内安全・諸願懇禱、18日は、金の御朱印。

美濃加茂市下米田町小山104 ☎0574-26-9133



29 龍馬神社

平成18年(2006)高知県高岡郡佐川町「龍馬神社」より正式に御分霊を賜り、日本で2番目の「龍馬神社」として創祀する。御祭神は「坂本龍馬」で特に信仰が厚い。

坂本家のルーツはこの地方出身の明智左馬之助。その縁あって高知よりの地に分祀。全国から龍馬ファン、幕末ファンが訪れる。毎月15日からは期間限定の御朱印も発行されている。

中津川市千旦林1626 ☎0573-68-8040



30 林昌禅寺

鎌倉時代(1330年頃)、草伯という僧が薬師如来を本尊とし、医王山瑠璃光寺としたのが始まり。火災により焼失するが、薬師如来(現本尊)は猛火を飛び出し避難されたこと伝う。寛永二年(1625年)その跡地に林昌寺として創建され現在に至る。

山門には二代目左甚五郎作の12支彫刻があり各種ご祈祷が受けられる他、坐禅・写経体験なども出来る(要予約)。本堂左脇には寺喫茶「目坐(さざ)」がありコーヒーや手作りスイーツが人気。(10~16時・火曜休)

恵那市山岡町久保原388 ☎0573-56-2089



31 飯高山 萬勝寺

比叡山延暦寺三世の慈覚大師(円仁)作と伝えられる秘仏千手観音菩薩像が祀られています。

厄除け・家内安全のお参りで近郷の尊信を集め飯高観音として親しまれています。戦いで焼失の後、1616年開山、棟室和尚により臨濟宗妙心寺派の寺院になりました。御朱印は300円。



恵那市山岡町馬場山田175 ☎0573-56-2810

32 飛驒天満宮

延長元年(923年)菅原道真公の三男兼茂公が建立。亡き父を慕って自ら木像を彫り祠に祀ったのが始まりで、親を思う子の真心が胸を打つ太宰府天満宮直系の神社。

合格祈願や厄除けの信仰が篤く、合格絵馬・厄除け割符が人気。境内には疫病封じの神様も祀られている。通常の御朱印と絵(ヒノキ)で作った特別仕様の御朱印があり、毎月25日には金文字の御朱印を授与。いずれも500円。



高山市天満町2-30 ☎0577-32-1466

33 飛驒一宮水無神社

古来、飛驒国の一宮と宗敬され、創始は神代と伝わる。御祭神である水無神は、神通川(宮川)と飛驒川の分水嶺、水源である位山に鎮座する水主神として水徳を仰がれ、生命、特に農作物に実りをもたらす「作神様」として信仰されてきた。ゆえに農耕・養蚕・畜産守護、健康長寿に御神威が高いとされている。

4月3日の「生きびな祭」には、女性幸福(良縁など)を願って飛驒内外から多くの参拝者が訪れる。5月1日・2日の「宮まつり」(宵宮・例祭)では、参拝者に「どぶろく」が振る舞われる。

高山市一之宮町5323 ☎0577-53-2001



34 温泉寺

寛文11年(1671)、下呂富士と呼ばれる中根山の中腹に位置し、下呂温泉の湧出を知らしめた、白鷺に化身した薬師如来像を本尊とする。

下呂温泉は草津・有馬と並ぶ日本三名泉に称されており、江戸時代には3万人の湯治客があったと言われている。温泉寺はその歴史とともに歩んできた。当時の病氣平癒の願掛けの絵馬が今も残る。

下呂市湯之島680 ☎0576-25-2465

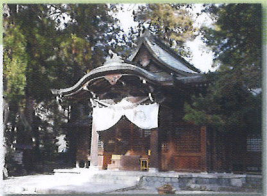


35 森水無八幡神社

人皇十二代景行天皇の御代に始まった「志也具之乃宮松森神社」は、平安～鎌倉時代の八幡信仰の広がりを受け、八幡宮を合祀され現在に至っている。収蔵の木造神像十軀は国指定重要文化財となる。

巨木に囲まれた境内で2月14日に行われる、国指定重要無形民俗文化財の「田の神祭り」は、飛驒路に春を告げるまつりとして有名。御朱印は幣殿前に用意されており、毎月8日のみ「金の御朱印」となるが、いずれも1枚300円。

下呂市森1321



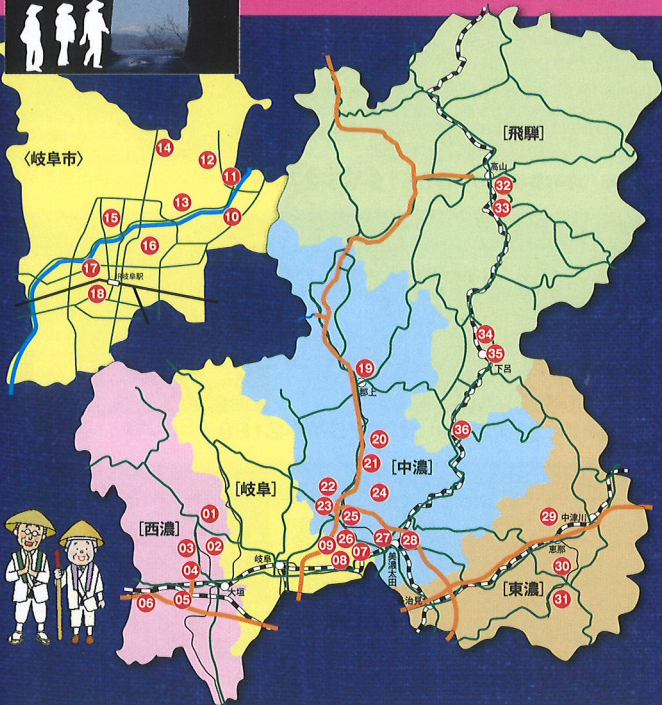
36 長福寺

天文14年(1545)、僧喜山長悦首座が藤倉山に長福庵として創建。正保元年(1644)、牯心長老が寺格を法地として同年長福寺と改めた。享保15年(1730)には、藤倉山より現在地に移転して山号を金山と改めた。

文化10年(1816年)に建立された山門(木造瓦葺総樺破風造り)は、下呂市指定文化財で、長福寺裏の愛宕山中腹の「悟りの道」には、十六羅漢が祀られており季節の草花や森林浴も楽しめる。

下呂市金山町金山2164 ☎0576-32-2310





御朱印巡りでの注意事項

- 記帳する御朱印帳を持参して、直接書いてもらう事を希望する方は、事前に宮司又は住職様の所在及び対応を確認の上、お出掛け下さい。
- 特に遠方へ出掛ける場合など、所用で不在の場合もありますので、上記を希望される方は特に事前確認をお忘れなく。
- 各社寺の頭にある番号は、MAPに位置を明記する為の番号で、巡礼順序を示した物ではありません。ご都合に合わせて自由に巡って下さい。

全制覇された方にもれなく「満願成就証明証」を発行いたします。

上記期間中に全36社寺を制覇した御朱印帳を、岐阜新聞社までご送付ください。確認後、もれなく「満願成就証明証」を発行し、御朱印帳と共に全御朱印が載ったミニポスターを添えて郵送にて返却させていただきます。
※御朱印帳について規定はありません。お手持ちのもの又は市販の御朱印帳をご利用ください。

【送付先】 岐阜新聞社営業局 「令和3~4年・平和の巡礼」係
〒500-8577 岐阜市今小町10番地
電話 (058) 264-1158

【応募締切】 令和4年2月10日(木) ※御朱印帳必着

問い合わせ先 / (株)アド・プロ ☎058-263-5147 担当 / 上村

HOUSING GALLERY

協賛：

岐阜ハウジングギャラリー